

## 4 プラネタリウム

### (1) プラネタリウムの構成

- ・ プラネタリウムドーム 直径 16m
- ・ 座席数 180 席
- ・ プラネタリウム機器  
光学式投映機  
(五藤光学 CHRONOS II)  
デジタル式投映機  
(五藤光学 VIRTUARIUM II)
- ・ 音響装置
- ・ コントロールコンソール
- ・ 補聴装置 (磁気誘導ループ方式)

### (2) 各種投映

#### ア 一般投映番組

前半に星空解説、後半にオート番組の2部構成で投映を行った。

星空解説部分については、職員による生解説で投映当夜の星空を紹介した。

#### (ア) 「HAYABUSA2-REBORN-」

小惑星リュウグウでの探査を成功させ、地球にカプセルを届けた「はやぶさ2」の壮大な旅の軌跡を紹介した番組。



投映期間 令和4年2月12日(土)  
～4月22日(金)

#### (イ) 「ぬすまれた月」

和田誠氏の絵本「ぬすまれた月」を原作にした、月の不思議と魅力を優しく紹介した番組。熊本市現代美術館「和田誠展」と連動しての投映。



投映期間 4月23日(土)～6月19日(日)

#### (ウ) 「フライングモンスター」

はるか昔、恐竜たちの時代に大空を支配した「翼竜」について紹介した番組。夏季特別展「世界の大翼竜展」と連動しての投映。



投映期間 7月16日(土)～9月4日(日)

#### (エ) 「まだ見ぬ宇宙へ」

天文衛星ガイアの観測データに基づいた、美しい銀河や星雲・星団の映像と共に壮大な宇宙旅行を楽しむことができる番組。



放映期間 9月9日(金)～12月2日(金)

(オ)「VOYAGER」

NASAが打ち上げた2機の無人惑星探査機ボイジャー1号・2号のミッションと成果、そしてこれからありえるかもしれない未来を描いた番組。



放映期間 12月3日(土)  
～令和5年3月5日(日)

(カ)「470億光年の、その先へ—宇宙のはてを探  
す旅—」

カノンの調べと共に星空の果てを探して旅をする、宇宙の不思議を伝えるサイエンス・ファンタジー作品。



放映期間 令和5年3月8日(水)～

イ ファミリーアワー

幼児から小学校低学年やその家族を対象に、プラネタリウムに親しんでもらう最初の機会として毎週土曜・日曜、祝日及び学校長期休業中に実施した。全体の放映時間は45分間(平常時は歌や掛け声を交え、わくわく感を高めるなどの工夫)。また、番組放映の前には当夜の星空を紹介。

(ア)「あひるのガックン おほしさまのせかいへ」

あひるの子ども、ガックンがお星さまの世界での妖精や黄道12星座たちとの出会いを通して、思いやりの気持ちを育む物語。

放映期間 4月23日(土)

～令和5年3月5日(日)

(イ)「テンテンのさがしもの」

パンダのテンテンたちが、友人のために光る赤いものを探して宇宙に飛び立つ話を通して、惑星や月、十二星座など、身近な天体について紹介する番組。

放映期間 令和5年3月8日(水)～

ウ 学習放映

小中学校の理科・天体学習の理解を深めるため、学校団体向けの放映を行うもの。当夜の星空を中心に、星座、惑星、太陽・月・星の動きなどを生解説し、学年に合わせたテーマ番組の放映を行った。

また、熊本市立小学校は 5 年生時に集団宿泊教室を行うことから、目的地に向かう前に当館を訪れてもらい、その際にプラネタリウム投映を行っている。宿泊教室以外の「学校行事等」での利用にも応じている。各種番組の内容は以下のとおり。

#### 学習投映番組一覧

<p><b>【星が見てきた KUMAMOTO】</b> 熊本市立小学校 5 年生時に行われる「集団宿泊教室」の事前学習として、宇宙の誕生から現在の熊本に至るまでの歴史を紹介。 投映回数：8</p>
<p><b>【むしむし星空大行進】</b> 小学校 1・2・3 年生向け 星座神話にちなんだ名前の昆虫たちを通して星や生物に親しむ内容で、四季の星座や太陽系の天体、南半球の星座などを紹介。 投映回数：1</p>
<p><b>【スタジオ 444～空のフシギをさぐれ！～】</b> 小学校 4 年生向け 教科書での学習内容に合わせ、月の見え方や星の明るさ、色の違い、時刻による見え方の違いなどを説明。 投映回数：37</p>
<p><b>【ポワンとフーニャンの宇宙調査隊～月と太陽のひみつ～】</b> 小学校 6 年生向け 教科書での学習内容に合わせ、月の見え方と太陽・月の位置関係、月と太陽の表面の様子の違いなどを説明。 投映回数：1</p>
<p><b>【この空に願いをこめて…】</b> 中学生向け 教科書での学習内容に合わせ、日周運動、年周運動、月の公転と満ち欠け、太陽系の天体、銀河系、宇宙の構造などについて説明。 投映回数：2</p>

#### エ 幼児団体向け投映

幼稚園や保育園などの幼児団体向けの投映を行うもの。投映時間は 45 分間で、星空の紹介（生解説）と幼児向け番組の 2 部構成。投映期間と内容は、前述のファミリーアワーと同様である。

#### オ 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウムの投映は映像と音声で構成されており、聴覚に障がいのある人にとっては、通常の投映では内容が十分に伝わらない面がある。そこで、聴覚に障がいのある人も一緒にプラネタリウムを楽しむことができるよう、字幕付きプラネタリウムを実施した。字幕については、熊本県聴覚障害者情報提供センターにご協力をいただき実施した。

##### (ア) 第 46 回字幕付きプラネタリウム

投映番組「ぬすまれた月」

日 時 5 月 21 日（土）

① 9：40～10：35

② 12：40～13：35

観覧者 45 名

##### (イ) 第 47 回字幕付きプラネタリウム

投映番組「フライングモンスター」

日 時 8 月 11 日（木・祝）

① 12：40～13：35

② 14：10～15：05

観覧者 220 名

##### (ウ) 第 48 回字幕付きプラネタリウム

投映番組「まだ見ぬ宇宙へ」

日 時 10 月 8 日（土）

① 12：40～13：35

② 14：10～15：05

観覧者 51 名

##### (エ) 第 49 回字幕付きプラネタリウム

投映番組「VOYAGER」

日 時 令和5年1月29日(日)

① 12:40~13:35

② 14:10~15:05

観覧者 95名

## カ 特別投映

(ア) 月の世界へようこそ

長年月面の撮影を続けてきたプラネタリウム解説員による月に特化した特別なプログラム。

日 時 6月18日(土) 15:40~16:50

観覧者 110名



(イ) 熟睡プラ寝たりウム

全国一斉「熟睡プラ寝たりウム」の開催に合わせて、気持ちよく眠っていただくためのプログラム投映を行った。

日 時 11月23日(水・祝)

① 11:10~12:00

② 15:40~16:50

観覧者 ①130名 ②130名



(ウ) クリスマスプラネタリウムコンサート

プラネタリウムの美しい星空と共に、宇宙やクリスマスにちなんだ楽曲の演奏をお楽しみいただきました。

日 時 12月24日(土) 15:40~16:40

演 奏 熊本市消防音楽隊

観覧者 130名



(エ) ハルキウ・プラネタリウム特別投映

ウクライナ・ハルキウプラネタリウムの解説員をお招きし、ウクライナの文化やハルキウプラネタリウムの歴史や現状についてお話いただくとともに、「ウクライナから見た星空」の解説を行った。

日 時 令和5年2月23日(木・祝)

15:00～16:15

観覧者 130名



質疑応答の時間では多くの手が挙がり、銀河の形や電波望遠鏡のアンテナの形状等について様々な質問が寄せられ、宮下氏にはそのひとつひとつにわかりやすく回答していただいた。



### (3) 天文講演会

#### ア 「究極の電波望遠鏡で迫る 宇宙の謎」

天の川銀河のブラックホールの電波写真や現在建設中である史上最大の電波望遠鏡についてご講演いただいた。

日時 7月2日(土) 15:00～16:30

講師 宮下 恭光氏

(熊本大学大学院先端科学研究部)

略歴 1992年生まれ。2020年熊本大学大学院で理学博士を取得。現在熊本大学大学院研究員。専門は電波天文学

参加者 60名

#### 講演概要

プラネタリウムの投映をするのが夢だったという宮下氏による、プラネタリウムを用いた夏の星座と七夕のお話、そして天の川銀河の解説から講演が始まった。

天の川銀河中心のブラックホールの撮像画像が公開されてから日が浅いということもあり、比較的低年齢の参加者も多くいたが、ブラックホールや電波観測画像、究極の電波望遠鏡ともいえるSKAの仕組みをわかりやすく親しみやすい例えを示しながら解説していただいたことで理解を深めることができた。